

マルチチャートの凄いところ

- IB証券を利用した自動売買が簡単。
- EasyLanguage (TradeStation) と100%互換性がある。
 - ※ TradeStation2000iとは少し異なる。
 - 例) 売買執行の変数
 - <TradeStation9 & マルチチャート>
 - Buy(ロング) → Sell(エグジット)
 - Sell Short(ショート) → Buy To Cover(エグジット)
 - <TradeStation2000i>
 - Buy(ロング) → ExitLong(エグジット)
 - Sell(ショート) → ExitShort(エグジット)
- 参照データは20までOK。

マルチチャートの凄いところ

- バックテスト機能

ロングとショート of 資産曲線グラフを別々に描写できる。

- インジケータの作成が簡単

(オリジナルのインジケータが作れる)

例) 単純移動平均線 (10 Bar)

```
Vars: MA10 ( 0 );
```

```
MA10 = Average ( close, 10 );
```

```
plot1( MA10 );
```

マルチチャートの凄いところ

(参考)インジケータの作成(MT4) ~ 単純移動平均線

```
#property indicator_chart_window
#property indicator_buffers 1
#property indicator_color1 Red
```

```
//指標バッファ
double Buf0[];
```

```
//移動平均の期間
extern int MA_Period = 10;
```

```
//+-----+
//| 初期化関数 |
//+-----+
int init()
{
    //指標バッファの割り当て
    SetIndexBuffer(0,Buf0);

    return(0);
}
```

```
//+-----+
//| 指標処理関数 |
//+-----+
int start()
{
    //指標の計算範囲
    int limit = Bars-IndicatorCounted();
    if(limit == Bars) limit -= MA_Period-1;

    //指標の計算
    for(int i=limit-1; i>=0; i--)
    {
        Buf0[i] =
iMA(NULL,0,MA_Period,0,MODE_SMA,PRICE_CLOSE,i);
    }

    return(0);
}
//+-----+
```